

令和2年度第2回認知症施策検討委員会 要旨

日時 令和2年11月6日(金)

13:30~15:20

場所 高梁市役所3階大会議室1・2

1. 開 会

あいさつ 河本委員長 13:30

2. 協議事項

13:35

①チームオレンジについて

②認知症サポーターステップアップ講座について

(別紙のとおり)

- ・ 認知症サポーター養成者数は現在 3,072 名。サポーターの人数は多いが、実動出来る人がどれだけいるか。30代~40代が少ない。

※グループワーク

14:00

テーマ①：チームオレンジについてのイメージ

(役割、活動拠点、メンバー構成、チーム名、サポーター名)

【意見】

- ・ 認知症カフェからの参加から知識を深めて運営にまわってもらい活動してもらいたい。
- ・ 講習会を知らないという意見があり、広報が必要。
- ・ 出前講座を行い、分かりやすく理解を深めてもらう。
- ・ 日中活動出来る人が良い。
- ・ 若い人にも期待したい。
- ・ 救命講座、防災訓練等の時に一緒に講座を行い、興味を持ってもらう。
- ・ 活動拠点
- ・ チームオレンジのイメージが分かりにくい。
- ・ 認知症早期の人や病識の無い人は
- ・ 訪問して声を掛けるとなると民生委員や町内会を巻き込んでいく必要あり。
- ・ 初期認知症は症状の変動が大きく、関わり方によって関係が壊れる危険がある為、まずは病気の理解をする必要がある。
- ・ 地域を分かっている人には話をしてくれることもある為、土地勘のある馴染みの人が望ましい。
- ・ 職域サポーターを増やし、それぞれの職域で得た情報を落とし込む場があれば情報の共有がしやすい。
- ・ 話し相手になるだけでも役割になる。
- ・ 対象者に合わせたサポーター、チームの形がある。

テーマ②：ステップアップ研修の内容について 14：40

(チームオレンジの役割を踏まえての講座内容)

【チーム名について】

- ・ 地域の特徴に合わせてチーム名を付けてはどうか。
- ・ チーム・オレンジ、城、みかん(地区名)
- ・ アイコンとなるような物を作成したら親しみを持ちやすいのでは。

【講座内容について】

- ・ ロールプレイを行い、認知症の方の話し方や特徴等でどう対応したら良いかを学ぶ。
- ・ 認知症介護経験者の話を聞き、対応方法を学ぶ。
- ・ 傾聴ボランティア等、ハードルが上がりすぎないように徐々に学んでいく。
- ・ 大まかな部分での疾患の理解
- ・ 個人情報の取扱いについて
- ・ コミュニケーション方法について
- ・ DVD等の映像を見た上で講座を進めていく。

3. その他 15：25

- ・ 第3回認知症施策検討委員会について

日時：令和3年2月5日(金) 13：30～

場所：高梁市役所3階大会議室1・2

4. 閉 会 15：30